



熊本市内の繁華街で運転代行業者による適正化の自淨努力が懸命に行われている。昨年2月に暫定スタートし、今年5月27日の第1回総会で正式に船出した

「熊本市繁華街運転代行協同組会」(小森田政憲会長)は、繁華街での代行業者の全国運転代行協会副会長は、繁華街をなくすぞと

独自に購入した防犯パトロール車「写真」での夜間パトロールや、駐車場を借りて路上待機しないなど、全国でも珍しい活動を行っている。

この取り組みが効果を上げれば、代行業者自らが適正化に取り組むモデルケースとなる。だが、現状は課題が多い。同協力会の会員

事業者が、駐車場に随伴車を駐車する中、路上で待機する非会員の代行業者に客を取られるなどの事例が続出、「この活動をしても得られない」などの意見も。スタート時に

## 熊本市内 運転代行 適正化へ奮闘

### パトロールなど自浄努力懸命

40社以上あつた会員数は31社まで減少。パトロールの回数も十分に行えてない。

い。

繁華街で営業する代行業者は約120社あると言われ、活動の広がりが力ぎとなる。小森田会長は「少數精銳で精力的に活動し、長

い目で見たメリットを理解してもらおうしかない」と決意を新たにする。

同協力会の第1回総会に

同市繁華街の違法駐停車撲滅運動は、まずタクシー協会(石崎公士会長)から始まった。熊本県タクシーカー協会(石崎公士会長)は、池部正剛・熊本北警察署長や、溝上義則・熊本運輸支局長、全連協の丹澤忠義会長らが出席し、期待度の高さをつかがわせた。同協力会の今後の活動の成果が注目される。

同市繁華街の違法駐停車撲滅運動は、まずタクシー協会(石崎公士会長)から始まった。熊本県タクシーカー協会(石崎公士会長)は、池部正剛・熊本北警察署長や、溝上義則・熊本運輸支局長、全連協の丹澤忠義会長らが出席し、期待度の高さをつかがわせた。同協力会の今後の活動の成果が注目される。

タクシーや代行の適正化に深く関わる熊本北警察署の中田正弘交通第一課指導係長は、「タクシーは乗務員がルールを守り、非常にうまくいっている。代行は事業者が適正化のための任

意団体をつくる歴史的な一步を踏み出したが、まだまだこれからで頑張ってほしい」と激励する。

同協力会の第1回総会には、池部正剛・熊本北警察署長や、溝上義則・熊本運輸支局長、全連協の丹澤忠義会長らが出席し、期待度の高さをつかがわせた。同協力会の今後の活動の成果が注目される。

全国ハイヤー・タクシー連合会副会長)は2011年3月、繁華街に12カ所の夜間タクシー乗り場を設置し、暴力団が介在する駐停車の縛りを一掃。タクシーラインの違法駐停車が消えた路面上に、今度は運転代行のつじ待ちが現れた。